

# 平成30年 労働者死傷病報告受理件数表

平成30年9月末現在  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		1						1	2	6	-4
		93	203	28	158	17	23	4	526	454	72
食料品製造業		25	72	5	28	6	2		138	132	6
鉱業			1	1			1		3	3	
建設業		3							3	2	1
		47	50	13	30	15	10	7	172	151	21
木造家屋等建築工事		8	13		3	2	3	2	31	33	-2
交通運輸・貨物取扱業			1						1	2	-1
		40	116	10	50	3	7	2	228	219	9
道路貨物運送業		37	106	9	46	3	7		208	188	20
林業		2	1	4		1	2	2	13	22	-9
上記以外の事業		141	276	46	110	39	35	35	682	613	69
		42	86	8	36	4	8	7	191	183	8
卸売業・小売業		10	18	4	3	1	3	1	40	36	4
通信業		23	59	15	20	10	10	3	140	136	4
医療保健業・ 社会福祉施設		1	9	1	2	5	1	10	29	16	13
旅館・ホテル業		4	2		2	2		1	11	16	-5
計		323	647	102	348	76	78	50	1,624	1,462	162
前年同期		2	3	1	4	1	3	2	16		
		335	530	99	318	71	60	49	1,462		
増減		2	-1	-1	-2	1	-3	-1	-5		
		-12	117	3	30	5	18	1	162		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	75	112	19	69	19	23	19	336	291	45
食料品加工用機械災害	2	10	2	3	2	1		20	20	
建設機械災害	4	5		4				13	18	-5
クレーン・玉掛災害	4	12	1	13	1	1		32	29	3
外国人の災害	7	26	2	34	2	3	2	76	72	4
公共工事の災害	7	6		2	4	2	1	22	21	1
交通労働災害	19	42	9	19		6	1	96	97	-1
荷主先災害	15	65	3	16	1	3		103	91	12

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。  
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

# 平成30年 死亡災害発生状況

平成30年9月末現在  
群馬労働局

	28年	29年	30年	対28年比	対29年比
製造業	2	6	2		-4
鉱業					
建設業	3	2	3		1
運輸交通業	1	2	1		-1
貨物取扱業					
林業	1	1	1		
その他	5	5	4	-1	-1
計	12	16	11	-1	-5

## 平成30年 死亡災害事例（建設業以外）

平成30年9月末現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	2月 13時頃 16人	50歳代 男 作業員	コンクリート二次製品の出荷前作業で使用する機械を清掃していたところ、機械と機械可動部（プッシャー）の間に身体をはさまれた。	窯業土石製品製造業	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
2	3月 12時頃 24人	50歳代 男 作業員	ガラス繊維製のタテ糸を直径10.5cmの鉄心（ビーム）に巻く作業において、手が糸とともに巻き込まれた。	その他の製造業	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
3	3月 10時頃 12人	30歳代 男 工場長	スクラップベアリングプレスのピット内（スクラップを圧縮成形する箇所）に立ち入り、詰まったスクラップ材を取り除いていたところ、当該プレスが起動し、蓋が閉まり、ピット内にいた被災者がはさまれた。	その他の廃棄物処理業	はさまれ・巻き込まれ	その他の金属加工機械
4	3月 11時頃 3人	70歳代 男 警備員	県道の橋上において、橋継ぎ部等の改修工事に伴う車線規制が行われていた。車線規制の中程の路側帯で交通誘導を行っていた被災者が、前方不注意の乗用車に跳ね飛ばされた。	警備業	交通事故（道路）	乗用車、バス、バイク
5	3月 17時頃 68人	50歳代 男 運転手	高速道路上において、大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに追突した。	道路貨物運送業	交通事故（道路）	トラック
6	3月 14時頃 1人	60歳代 男 作業員	2名で立木の伐倒作業中、伐木者が偏心木（胸高直径30cm、樹高22m）をチェーンソーを使用して伐倒したところ、伐倒予定方向からずれ、倒れた先にいた被災者に伐倒木が激突した。	その他の林業	激突され	立木等
7	6月 11時頃 8人	30歳代 男 技能者	被災者が、パラグライダーでフライト中、キャノピー（布製の翼部）が窄まり、上空から地面に墜落した。	その他の接客娯楽業	墜落・転落	その他の起因物
8	9月 14時頃 8人	60歳代 男 職員	刈払機を用いて草刈作業をしていたところ、蜂に刺され、アナフィラキシーショックを起こした。	社会福祉施設	その他	その他の環境等

## 平成30年 死亡災害事例（建設業）

平成30年9月末現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別
1	1月 10時頃 3人	60歳代 男 大工	歩み板等のない屋根上で古いポリカーボネート波板を剥がす作業をしていたところ、波板を踏み抜き、約3.7m下の浄化槽に墜落しておぼれた。	民間	おぼれ	屋根
2	2月 16時頃 70人	60歳代 男 作業員	太陽光発電設備の造成工事現場において、立木の伐採作業に従事していた被災者が、胸高直径28cmの伐倒木の下敷きになっているのを発見された。	民間	崩壊・倒壊	立木等
3	4月 14時頃 50人	20歳代 男 管理者	機械用の空調機ユニット（縦3.8m×横1.6m×高さ2.6m、重さ2.9t）を、2個の台車を用いて4人で手押し運搬中、手元で監督員として誘導作業をしていた被災者の方向に同ユニットが倒れ、下敷きになった。	民間	崩壊・倒壊	機械装置

# 平成30年 重大災害事例

平成30年9月末現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場数・(現場人数)	被災人数	災害のあらまし	災害の種類	事故の型	起因物
1	3月  17時頃  68人	3人 (40人)	<p>高速道路上において、大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに追突し、トラック運転手は死亡しバスの乗員・乗客38名が負傷した。 また、追突されたバスは、その前方に停車していた別の大型トラックへ追突し、当該トラックの運転手も負傷した。</p>	3人以上の災害	交通事故 (道路)	トラック